

製品安全データシート

TTA3150

作成 : 2022/6/10

改訂 :

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称 2, 2-ビス(ヒドロキシメチル)-1-ブタノールの1, 2-エポキシ-4-ビニルシクロヘキサン付加重合物

会社名 JIANGSU TETRA NEW MATERIAL TECHNOLOGY CO.,LTD.

住所 No.6-2, Zhonggang Road, Taixing Economic Development Zone, Jiangsu China

担当部署 Zip Code: 225400

担当者(作成者)

電話番号 +86-523-87671608

FAX番号 +86-523-87672323

メールアドレス

緊急連絡先番号 +86-523-87671608

販売代理店 サンケミカル株式会社

住所: 東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング

電話番号 03-3661-6681

FAX 03-3661-7055

メールアドレス yano@sun-chemical.co.jp

HP <http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意
研究化学品

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類 オリジナルのSDSの分類を使用しております。

物理化学的危険性: 分類出来ない

健康に対する有害性:

皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2
皮膚感作性	区分1
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分3

環境に対する有害性: 分類出来ない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル

● 注意喚起語

● 危険有害性情報



警告

- H315 皮膚に刺激を引き起こす
 H317 皮膚にアレルギー反応を起こすおそれがある
 H319 眼に重篤な刺激を引き起こす
 H335 呼吸器に刺激を引き起こすおそれがある。

● 注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 使用前に取扱説明書を入手すること。

- P261 ダスト、フューム、ガス、ミスと、蒸気、スプレーを吸い込まない。
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 P305+351 眼に入った場合、数分間、丁寧に眼をあらうこと。
 +338 コンタクトレンズを付けており、容易に取れる際は取った後に洗浄をする。

【応急措置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚(又は毛髪)に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
 ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

単一品

化学名又は一般名

4-ビニルシクロヘキサノ付加重合物(重合度1~700)のエポキシ化物

別名

脂環式エポキシ

化学特性

CAS番号

244772-00-7

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

7-2338, 10-915

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

▲ 項目4 応急処置

いずれの場合も医師の診断を受けること。

吸引した場合 新鮮な空気の場所へ移動する。

皮膚に付着した場合 直ぐに十分な水と石けんで洗い流すこと。

眼に入った場合 眼を開いて数分間水で流すこと。

飲み込んだ場合 十分な水で口をゆすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 吐き気
詳細な徴候及び症状は、項目11－有害性情報に記載する

項目5 火災時の措置

消火剤 炭酸ガス、粉末消火剤、水噴霧、耐アルコール泡

使ってはならない消火剤

火災時の措置に関する
特有の危険有害性 一酸化炭素、二酸化炭素

特有の消火方法

消火を行う者の保護 自動呼吸機器を身に着ける。

その他

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 保護具を身に着ける。

環境に対する注意事項 下水、環境に放出しないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 不活性物質で回収し、廃棄すること。

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 (局所排気、全体換気) 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
保護具を着用する。
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項 皮膚や眼への接触を避けること。
取扱場所での換気を行う。
吸引を避けること。

接触回避 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

安全な保管条件 熱と直射日光をあてない。
換気のよい場所で密閉容器に保管すること。

安全な保管保管包装材料 元の容器。

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

日本産業衛生学会(2005 年版) データなし
ACGIH(2005 年) データなし

設備対策

換気状態を良くしておくこと。
局所換気/全体換気

保護具

呼吸用保護具	換気状況が悪い場合に備えて、適切な呼吸器の保護具を用意すること。 USやEUでの規格基準を満たしたものが望ましい。
手の保護具	浸透性がないもの、製品、化学物質、試薬に適したものが望ましい。 手の保護具は破過時間、と耐久時間で定めること。 15分以上接触し続ける場合、天然ゴム、ニトリルゴムが望ましい
眼の保護具	保護眼鏡、防塵眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護作業服
特別な注意事項	汚れた保護具は直ぐに洗うこと。 食事前、休憩前には手洗いをすること。

項目9 物理的及び化学的性質

物理的状态	個体
色	白色
臭い	データなし
融点・凝固点	75~95℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に溶けない
n-オクタノール/水分配係数(Log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

その他データ

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	通常で安定
危険有害反応可能性	
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし
その他	

★ 項目11 有害情報

急性毒性
経口/LD50/>2000mg/kg(ラット)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性
データなし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性
データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性
皮膚感作のおそれ

生殖細胞変異性
データ無し

発がん性
データ無し

生殖毒性
データ無し

特定標的臓器毒性、単回曝露
呼吸器に刺激を引き起こすおそれがある

特定標的臓器毒性、反復曝露
データ無し

誤嚥有害性
データ無し

項目12 環境毒性情報

生態毒性
データ無し

残留性・分解性
データ無し

生体蓄積性
データ無し

土壌中の移動性
データ無し

オゾン層への有害性
データ無し

他の有害影響

▲ 項目13 破棄上の注意

残余廃棄物 通常のごみと一緒にしないこと。
汚染容器及び包装 下水に放出しないこと。
規制に従うこと。

項目14 輸送上の注意

国際規制
国連番号 非該当
品名(国連輸送名) 非該当

国連分類 非該当
(輸送における危険有害性クラス)

容器等級 非該当
海洋汚染物質 非該当
(該当・非該当)

MARPOLによるばら積み輸送される液体物質 非該当
(該当・非該当)

国内規制

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 荷崩れしないようにすること。

応急措置指針番号

非該当

その他

項目15 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報

化管法	非該当
安衛法	通知・表示対象 非該当
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
消防法	非該当
化審法	第一種、第二種特定化学物質 非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
バーゼル法	非該当
外為法	キャッチオール規制 該当
港則法	非該当

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE
2016年版 16716の化学商品

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実用性を対象としたものではありません。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くて良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目

色付けはGHS対応ガイドライン準拠
(2019年 日化協)
(但し、ラベルに全て載せる必要はない)